

コミュニティ・スクール通信

Vol. 2 令和6年3月発行 常滑市教育委員会

持続性の高いコミュニティ・スクールの実現に向けて

常滑市教育委員会教育長 土方 宗広

市内13校のコミュニティ・スクールの取組は、どこも昨年度以上に活気があり、学校と地域が手を携えて活動できたのではないかと思います。この紙面をお借りいたしまして関係する全ての学校の先生や地域の皆様に深く感謝いたします。

さて、今後コミュニティ・スクールが、さらに子どもたちの成長に寄与する持続性の高いものになるために必要な留意点をいくつか確認しておきたいと思います。

- (1) 学校では得られない知識・経験・能力を育成することを主眼におくこと。
- (2) 地域住民が自ら地域をつくるという主体的な意識への転換が必要であること。
- (3) 学校と地域が目指す子ども像を共有し、熟議される学校運営協議会であること。
- (4) 学校と地域との連絡・調整する地域コーディネーターが配置されていること。

令和6年度は上記4つの留意点を意識しながら、コミュニティ・スクールの推進していただけることを強く希望します。市内13のコミュニティ・スクールが「地域とともにある学校」として、子どもたちの未来を支える学校となることを期待しています。

コミュニティ・スクールとは…

地域と学校が協働し、学校運営にあたるために「学校運営協議会」を設置した学校のことを「コミュニティ・スクール」といいます。

常滑市では、他校に先駆けて三和小学校と南陵中学校で学校運営協議会を立ち上げ、常滑市の小中学校における学校運営協議会のあり方を模索し、令和4年度から、市内のすべての小中学校において学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」としての新たな学校づくりを進めています。

コロナ禍によって地域とのつながりが希薄になっていた小中学校ですが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行された令和5年5月以降、保護者の皆さんや地域の皆さんと連携し、活動を共にする機会が戻ってきています。

学校のニーズに応えていただく学校づくりのための支援活動だけでなく、学校が地域づくりのために地域のニーズに応えていく地域貢献も視野に入れて相互連携を一層進めていきたいと考えております。

三和小学校 三和っ子育成協議会（学校運営協議会）

「地域とともにある三和小学校をめざして」



① 令和5年度の活動

- ・ボランティア年間計画に準じて、実施できる学校活動の支援・協力、環境整備作業など
- ・学校教育目標の承認、年間4回の役員・実行委員会での意見交換・提言

② 活動報告

- ・「三和っ子フェスティバル」【9/30(土)】

地域や関係団体の方と三和っ子とのふれあいの中で、三和っ子・地域の方々の笑顔がたくさん見られました。今年度は、「炊き出し訓練（豚汁）」を実施。三和小学校が避難所ことを想定した取り組みを行いました。



【炊き出し訓練（豚汁）】



【地区コミュニティコーナー】

参加団体：地区コミュニティー（矢田・久米・前山）、おやじの会、スポーツ愛好会、ボースカウト、ガールスカウト、PTA

- ・「あいさつ運動」【12/5(火)】

参加者：更生保護女性会・PTA・児童会・児童有志
教員・トコタン・地域の方々



【あいさつ運動】

③ 令和6年度に向けて

<来年度の活動予定> 「避難所体験をやってみよう！」（検討中）

<課題> 今後も活動を継続していくために、次の世代・若い世代にどう引き継いでいくか。

<メッセージ> 地域・保護者の皆様と一緒に三和っ子を育てていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。また、こんなことをやりたい・やってみたいというご意見等ありましたらご連絡ください。

大野小学校 学校運営協議会

「学校・地域・保護者が連携し、

子どもたちの健やかな成長を育もう」

① 令和5年度の活動

- ・学校運営協議会運営会議（年3回）
- ・除草作業・植栽等の学校環境整備
- ・ツキイチオオノ主催の10月の企画への参加
- ・登下校の見守りボランティア
- ・ボッチャ体験
- ・尾張大野古今散策への参加

② 地域の活動と協同した尾張大野古今散策

- ・昨年度までは多くの子ども達は迎えられる側（お客さん）でしたが、今年度、全校児童がメモリアルアートモービルに参加し、迎える側（企画・運営）としても参加しました。当日は大野の町の歴史を感じさせる催しもあり、小学生にも伝わる（知る）ことができました。



【飾られたメモリアルアートモービル】

③ 令和6年度に向けて

- ・来年度は地域との交流を積極的に行い、子どもたちが大野の町の歴史や良さを体感することで、将来、大野の町を誇りに思う大人に成長するような企画を取り組みたい。そのためには、保護者や地域の方々のご協力が必要です。ご協力をお願いします。

青海中学校 学校運営協議会

「ふるさと“青海”を愛し、夢に向かって努力する生徒の育成」

- ・青海中学校学校運営協議会は、青海中応援団員さん、民生委員児童委員さん、区長さん、PTA役員さんなどさまざまな立場から構成され、青海中学校を支えてくださっている心強いサポーターのみなさまです。

☆令和5年度の活動

- ・青海中応援団による環境整備活動
- ・地域と連携したあいさつ運動
- ・ミシン補助ボランティア

1年生の家庭科の授業でミシンを学習しました。生徒のミシン操作の補助をしていただけるボランティアを募集したところ保護者、学校運営協議会委員、青海中学校応援団の関係者8名の方が参加してくださいました。

- ・尾張大野古今散策ボランティア

大野コミュニティの方から、中学生ボランティアの依頼をいただき、青海中生が地域のイベント「大野古今散策」へのお手伝いに参加しました。受付、スタンプラリーやバザーなどの運営補助、会場の準備や片付けなど地域のために貢献しました。

☆今後も地域と共にある学校を目指し、地域の活動にしたり、授業支援ボランティアを募集したりしていきます。生徒のためにみなさまのお力をぜひお貸しください！



【ミシン補助活動】



【地域の方と団結して】

鬼崎中学校 学校運営協議会

「地域に愛され、地域を愛する鬼中生を目指して」



鬼崎キャラクター
「オニチュー」

今年度は、鬼中生が地域とつながり、地域の一員であることを実感できる活動に取り組みました。

①令和5年度の活動

- ・榎戸区と多屋区の春の祭礼、蒲池区と榎戸区の盆踊り大会に運営ボランティアとして参加。
- ・蒲池海岸の飛砂防止ネットの取外し(5月)と取付け(11月)作業にボランティアとして参加。
- ・「鬼まるマルシェ」「榎戸コスモス祭り」など、多数の地域イベントにボランティアとして参加。
- ・2つの「地域×学校コラボプロジェクト(※②参照)」を企画、運営。

②令和5年度の「目玉」といえる活動

- ・榎戸スマホ教室

地域からの依頼をきっかけに、高齢者を対象としたスマホ教室を共同で企画しました。鬼中生が先生役となり、個々のニーズに寄り添いながらSNSの中で代表的なLINEの使い方を地域の方に手ほどきしました。

- ・鬼崎フェスティバル2023

2年前に廃止した文化祭を、地域の協力を得てリニューアルして開催しました。ステージ発表に加え、地元の小売業者を招いたマルシェを同時に開催するなど、規模を拡大して地域交流のイベントへと発展させました。



【榎戸スマホ教室】



【鬼崎フェスティバル2023】

③令和6年度に向けて

- ・地域の催しや依頼に関する周知と斡旋、参加生徒への支援に努めます。
- ・学校ホームページや学校便りを通して、活動の様子を積極的に発信していきます。
- ・地域に貢献したいと考えている生徒がたくさんいます。催しや企画がありましたらお知らせください。

鬼崎北小学校 学校運営協議会

「親切、丁寧でひとりひとりを大切にする教育を通して」

【令和5年度の活動】

- ・学校運営協議会運営会議 …………… (運営委員参加 4月・6月・11月・2月)
- ・スクールガードボランティア …………… (1年生下校時支援 蒲池松寿会・西之口長寿会 他)
- ・学校支援ボランティア「きほく応援隊」 (随時募集 読み聞かせ・町探検・ミシン・リース作り他)
- ・クラブ活動補助 …………… (昔の遊びクラブ ゲストティーチャー)



「地域の方に子ども達のことを知っていただく」ことを目的として、学校支援ボランティア「きほく応援隊」について地域に発信しました。

これまで地域の老人会が中心だったボランティア参加者に、在校生保護者、卒業生保護者なども加わり、学校支援活動を通じて参加者同士が新たにつながることができました。

【令和6年度に向けて】

- 学校支援ボランティア制度を積み重ねていく上での資料となるよう、活動ごとの記録、ボランティアの感想や学校側の反省を残し、次回の実践方法や 実践内容などの改善を図ります。
 - ・読み聞かせは、一覧表に活動日、読み聞かせ本の内容等を記載
 - ・各ボランティアに参加いただいた方の参加記録をデータで保存 等
- 学校支援ボランティアに気軽に参加できるよう、学校外部の窓口として、PTAからも呼びかけてもらうシステムを作ります。
- ★引き続き、「きほく応援隊」へのご登録の声かけ、鬼崎北小学校の児童が、地域の一員としての意識を高められるような手立てを話し合い、子どもの成長と一緒に感じ合えるコミュニティ・スクールを目指します！

鬼崎南小学校 学校運営協議会

「地域に誇りをもち、地域に貢献しようとする児童の育成」

本年度は、昨年度の活動を継続しつつ、祭礼の学習を通して「地域を知る取組」を行いました。

令和4年度から継続した主な取組



【 校内の環境整備 】



【授業サポート（糸のこ）】



【 校外学習引率補助 】



【授業サポート（火おこし）】

令和5年度の新たな取組 祭礼の学習



2・3年生を対象に榎戸地区のお囃子を披露していただきました。また、4年生の社会の学習として、多屋、榎戸の祭礼を紹介していただきました。多くの児童が地域の方の「地域を愛する気持ち」を感じました。

〈 4年生児童の感想 〉

私は、昔からある地域の物を大切にしたいと思いました。よい伝統を次の時代に伝えていきたいです。

来年度も、児童が「この地域っていいな」と感じられる活動や、地域の方に学校の様子を知っていただく活動を引き続き行っていきます。活動のサポートの依頼については、今年度と同様に学校運営協議会委員の方から随時連絡させていただきます。ご協力、よろしくお願いいたします。

常滑西小学校 学校運営協議会

「地域と共に歩む常滑西小をめざして」

①令和5年度の活動について

- ・「常西っ子応援隊」の募集
- ・「常西っ子応援隊」による児童への学習支援活動（2年図工カッターナイフを使った作業の補助等）
- ・「常西っ子応援隊」による学校の環境整備活動（PTAふれあい作業前日の草刈り等）
- ・地域・他校との連携活動（常滑焼まつりでのお菓子販売体験等）

②「ワークセンターかじま」との交流会

障がい者就労支援施設「ワークセンターかじま」は地元密着の施設であり、「地元の子どもに施設について知ってもらいたい」、「とこなめ焼や常滑市について語ることができる子どもを育成したい」という願いをもっている。その願いと本校の「地域とともに子どもを育てたい」という思いが合致し、交流を行うこととなった。とこなめ焼に利用する土を使った染色体験を、施設の方と本校児童（5年生）が一緒に行い、児童が地元のとこなめ焼や障がい者就労施設の様子について理解を深める機会となった。



【ワークセンターかじま交流会】

③令和6年度に向けて

来年度は、地域や他校との交流がより進み、児童が地域貢献する活動を増やしてきたいと考えています。今年「常西っ子応援隊」の募集を始めたところ、多くの加入がありました。ありがとうございました。随時募集しておりますので、興味のある方は学校までご連絡ください。

常滑東小学校 学校運営協議会

「……地域とともにある学校づくりを目指して……」

地域とともにある学校づくりの理念や目指す学校像を地域と学校が共有し、地域と連携・協働した教育活動を通して、児童の自己実現を図る。

①東っ子応援隊の活動拡大・支援者間交流

授業支援グループにPTAの保護者が合流することで、「雑巾づくりボランティア」などの新たな支援活動も生まれました。これにより、学校と地域の結びつきだけではなく、地域でつながりのなかった方々も、学校での支援活動をとおして新たにつながることができ、学校が地域交流の場となりました。

②芸術鑑賞会（お囃子発表会）

学校と地域が連携・協働して児童が世代間交流を重ねていくことで、地域への愛着が高まり、ふるさと常滑を愛し、よりよい社会と人生の創り手となる児童を育むことを目指し、瀬木区・北条区の全面的なバックアップをいただいて実施しました。

この会后、子ども囃子へ入会を希望する児童もおり、地域を知り、地域に学び、地域づくりに貢献しようという気持ちを高めることができました。



【瀬木祭り保存会】



【北条区お囃子保存会】

③令和6年度に向けて

市政70周年を迎える市のキャッチコピーは、市民の「わ」でつくる魅力創造都市です。今年度は常滑中との小中連携も始まりました。小中・家庭・地域がさらに連携し、共に魅力ある地域づくりを目指します。



【お囃子体験】

常滑中学校 学校運営協議会

「飛び出そう！常中生！」～AGE明るく元気に笑顔で～

●令和5年度の主な活動

常中生が元気に飛び出せる活動を推進しました

- ・常中応援マフラータオル製作・販売
- ・保護者イベントの開催
- 12/16 子育て応援イベント、3/2 アイの会
- ・案内看板設置（協賛：同窓会 PTA コミク）
- ・卒業制作「思い出いが」（2年目・77回生）

★新企画★子育て応援イベント

12/16(土)子育て応援イベントを開催しました。常中や学区小学校の保護者、地域の皆様に多数ご参加いただきました。鯉江優次さん、渡邊十三香さんに子育て経験談や子育ての応援メッセージをいただきました。とても温かい時間になりました。

●令和6年度に向けて

子育て応援スピンアウト企画「アイの会（子育て情報交流座談会）」の定期的な開催に向けて準備を進めます。

他にも子どもたちや地域の皆さんがワクワクするような企画を計画します！

・地域イベントへの参加

- 7/23 中の宮天王まつり 8/6 北条まつり
- 9/30, 10/1 お菓子作り(カレット常滑店、小中連携)
- 10/7, 8 常滑焼まつり(小中連携)
- 11/19 ファミリースマイルフェスティバル
- 3/24 市場区 100 周年イベント



【子育て応援イベント】



【マフラータオル販売】



【常滑焼まつり出店】



【案内看板完成】

西浦北小学校 学校運営協議会

「地域と共に、学校と地域が大好きな子どもたちを育てる」

①令和5年度の主な活動

- ・1, 2 年歩行訓練補助
- ・すもう大会補助
- ・西阿野地区保全隊による除草作業、いも掘り
- ・西阿野地区巫女舞参加
- ・6年生自転車訓練立哨
- ・樽水地区お囃子体験

②令和5年度「すもう大会」10月1日(日)

昨年度に続き、無事に恒例のすもう大会を開催することができました。前日準備は土俵の飾り付けや土俵作りに、当日は大会の運営にと、地域の皆さんとPTAが協力して取り組みました。

行司のお二人は、30年以上前からボランティアで行司を務めてくださっています。大会当日も、軍配を上げたり、決まり手の解説をしてくださったり、児童へエールを送ってくださったりと、すもう大会になくてはならない存在です。今年から6年生女子もトーナメント制に変更し、トロフィーをかけて熱戦を繰り広げました。PTAの委員さんのスムーズな運営で、子どもたちにとって思い出に残る大会となりました。保護者だけでなく、地域の方にも大勢応援に駆けつけていただき、声援を受けた児童が、生き生きと大会に参加しました。



【すもう大会】

③令和6年度に向けて

令和5年度は、地域の方とつながり始めたネットワークがさらに広がり、活動内容も多岐に渡りました。これは、保護者をはじめ地域の皆様が、「私の町の小学校」としてさらに認識を深めていただけたからこそと感じています。子どもたちには、今後も自分から地域に関わろうとする姿勢と、地域への愛着心もつことができるような教育を進めます。令和6年度も「すもう大会」を活動の中心におき、学校と地域が一体となり、さまざまな活動を成功させましょう。地域の皆様、子どもたちのため、ご協力をお願いいたします。



【サツマイモ掘り】

西浦南小学校 学校運営協議会

「地域の人から愛され、地域を愛し、夢をもった児童の育成」

【令和5年度の活動】

学習支援活動…学期末における授業後の児童支援（毎学期末）、読み聞かせ活動（週1回）

授業・クラブ活動補助、校外学習補助（やきもの散歩道）

安全支援活動…交通安全教室立哨補助

環境支援活動…グラウンド整備（にがり捲き）、施設整備（階段手すり塗装）、草刈り、緑化作業など

「地元祭礼の復活のために！」

3年生の総合的な学習の時間に、本校の地域住民であり、人出不足によって中止になってしまった古場地区の祭礼の復活に尽力した八木幸雄さんを講師にお招きし、児童らに出前授業をしていただきました。地元の伝統を守るべく、祭礼の復活に取りかかろうとしたものの、お囃子の楽譜などの資料がまったく残されていなかったのが、記憶に残る音を頼りに楽譜興しをしたことや祭礼で使用する山車を見つけるときの苦労をお話いただきました。本



【地区祭礼の復活を語る】

本校の多くの児童もそのお囃子に参加し、日々、八木さんら地域の方の御指導をいただきながら練習を重ねています。授業の最後には、その児童が学級の友達の前で八木さんとともにお囃子を披露しました。

今後は、児童が地域貢献する場面も積極的に取り入れ、児童の地域の一員としての意識を高めていきます。また、本活動を支えていただく「西浦南応援団」には多くの地域の方々に御登録をいただいています。地域の方々のもっている持ち味を生かし、地域の担い手である児童らにさまざまな感動と出会いを与えていきたいと考えています。応援団は随時募集していますので、積極的な御参加をお願いします。

小鈴谷小学校 学校運営協議会

4年ぶりのもちつき会！！

「小さな学校の大きな人づくり」

《令和5年度の活動紹介》

- ・スクールガード
- ・応援団&花いっぱいボランティア
- ・図書館ボランティア
- ・校外学習&授業ボランティア

《楽しさいっぱい！ふれあいいっぱい！

おいしさいっぱい！もちつき会》

もちつき会は、昭和51年から続く小鈴谷小学校の伝統行事です。コロナ禍による3年間の中止を経て、4年ぶりに開催することができました。PTA役員さんを中心に、もちつきサポーターとして、PTAボランティアや地域の方々が、たくさん参加してくださいました。

当日は、「ヨイショッ！」のかけ声や、つきたてのお餅の匂いがあふれ、大人も子どもも、笑顔、笑顔のもちつき会となりました。

児童の中心となった6年生は、Chromebookで、もちつき会の振り返りをまとめました。保護者や地域の方々と交流しながら活動することを通して、児童は豊かな心と学びを深めました。

来年度も、保護者や地域の皆さんとともに、小さな学校の大きな人づくりを目指します！



南陵中学校 学校運営協議会

「ふるさと南陵を愛し 夢と志をもった生徒の育成」

本校では上記の合言葉を掲げ、地域の方々と一緒に、将来の南陵地区の担い手を育む活動を進めています。

①令和5年度の活動について

- ・学校運営協議会運営会議（年3回） ・つつじの剪定・除草作業
- ・南陵コミュニティ×文化家庭部のコラボ企画「おらがの村の振舞い御馳走」
- ・PTAとの連携（自転車点検・あいさつ運動・資源回収・PTA交流会・コサージュづくり）
- ・地域との連携（南陵クラブの活動・大谷海岸清掃等の地域行事に生徒が参加）

②令和5年度の「目玉」の活動・・・「南陵防災学習」「南陵防災サミット」

地域の担い手としての意識を高め、将来も安心して住むことができる南陵地区を考える活動として、1年生の総合的な学習で「南陵防災学習」をスタートさせました。「協力型防災ゲームLIFE」や「避難所運営ゲームHUG」、「逃げ地図づくり」などに取り組み、南陵地区の防災・減災について学びました。その学習の成果を「南陵防災サミット」で地域の方と意見交換をすることができました。自分事として防災を考えるきっかけとなりました。



【逃げ地図づくり】

③令和6年度に向けて

- ・来年度も継続して南陵防災学習に取り組み、将来の地域の核となる人材を育てていきます。
- ・コラボ企画やPTA交流会、地域行事への積極的な参加など、より地域とともにできる活動に力を入れていきますので、ご協力お願いいたします！

学校とつながってみませんか

常滑市の各小中学校では、コミュニティ・スクールとして地域との連携をさらに推進していくために、次のようなことを考えています。

○地域の皆さんに学校の取り組みに参加し、子どもたちの教育に関わっていただきたい。

○地域の活動に、地域の一員として子どもたちを参加させることによって、地域と学校の一体感を生み出したい。

⇒学校と地域が手を取りあって、「ふるさと常滑を愛し、よりよい人生と社会の創り手となる」子どもたちを育みたい。

これらの取り組みは、学校が地域からの支援を一方的に求めているものではなく、地域とともにある学校づくりを目指したものです。お力をお貸しいただける方、アイデアをお持ちの方は、各学校の教頭先生や学校運営協議会の方々にお声かけください。連絡をお待ちしております。

【青海地区】 青海中学校 42-0331 三和小学校 42-0749

大野小学校 42-1011

【鬼崎地区】 鬼崎中学校 42-0221 鬼崎北小学校 42-0222

鬼崎南小学校 35-2422

【常滑地区】 常滑中学校 35-2375 常滑西小学校 35-2104

常滑東小学校 35-2428

【南陵地区】 南陵中学校 35-4005 西浦北小学校 35-2164

西浦南小学校 35-4002 小鈴谷小学校 37-0021